

令和6年第12回刈谷市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和6年12月23日（月）午後2時00分
- 2 場 所 刈谷市役所 7階 701会議室
- 3 議事日程
 - 第1議事 前回会議録の承認について
 - 第2議事 教育長報告
 - 第3議事 議案第26号 学区外就学について
議案第27号 社会教育委員の委嘱について
承認第23号 専決処分（学区外就学）について
 - 第4議事 部課長報告
各課定例報告
令和6年12月議会一般質問、市民文教委員会質問事項報告
学校訪問等から要望・提言したいことについて
- 4 出席委員

教 育 長	金 原 宏
委 員	石 田 芳 加
(教育長職務代理者)	
委 員	鶴 田 英 孝
委 員	浅 井 優
委 員	小 川 耕 示
- 5 委員以外の出席者

教 育 部 長	竹 谷 憲 人
教 育 総 務 課 長	石 崎 伸 一
学 校 教 育 課 長	田 中 仁
生涯学習推進監兼生涯学習課長	寺 田 浩 司
スポーツ振興監兼スポーツ課長	坂 東 知 道
教 育 総 務 課 課 長 補 佐	近 藤 真
教 育 総 務 課 総 務 係 長	溝 口 香 織
教育総務課総務係主事（書記）	渡 邊 由 佳

開会宣言

会議開始時間 午後2時00分

=====

【第1議事】

教育長：第1議事 前回会議録の承認について上程

教育総務課総務係長：前回定例会の会議録について訂正が無い旨を報告

教育長：第1議事について質疑を許可

【第2議事】

教育長：第2議事 教育長報告について報告

教育長報告

- 1 1 / 1 9 ・学校訪問（小高原小学校）
- 2 2 ・議会運営委員会
- ・定例記者会見
- 2 4 ・令和6年度市民文化祭美術展表彰式
- 2 5 ・行政経営会議
- ・三河部都市・町村教育長協議会
- 2 6 ・校長会
- 2 7 ・キラキラ教室（亀城小学校）
- 2 9 ・表敬訪問（特別支援学校第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」出場）
- 1 2 / 3 ・教育委員会第2回臨時会（秘密会）
- ・表敬訪問（第30回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会出場）
- 4 ・本会議
- 5 ・本会議
- ・「新・BS日本のうた」収録
- 6 ・本会議
- ・予算審査特別委員会
- 7 ・第17回愛知県市町村対抗駅伝競走大会選手激励
- 8 ・刈谷文化協会表彰式
- 9 ・行政経営会議
- 1 0 ・教科指導委員会
- ・二十歳の集い実行委員会リハーサル
- 1 1 ・美術館 刈谷っ子ギャラリー見学
- ・刈谷市学校保健会役員会
- ・表敬訪問（合唱コンクール全国大会出場 亀城小学校）
- 1 3 ・市民文教委員会
- 1 6 ・刈谷市小中学校PTA連絡協議会情報交換会
- ・西三河教育事務所打ち合わせ
- ・刈谷商工会議所女性会・青年部合同公開講演会
- 1 8 ・いじめ問題対策連絡協議会
- ・表敬訪問（ポスターコンクール・市村アイデア賞 住吉小学校）
- 1 9 ・予算審査特別委員会
- ・議会運営委員会
- 2 0 ・本会議
- 2 1 ・国立大学協会令和6年度大学改革等シンポジウム

教育長：第２議事について質疑を許可

===== 質疑なし ===== 第２議事 ===== 以上 =====

【第３議事：議案第２６号】

教育長：第３議事 議案第２６号 学区外就学について上程

学校教育課長：議案第２６号について説明

教育長：議案第２６号について質疑を許可

===== 質疑なし ===== 第３議事 議案第２６号 ===== 議決 =====

【第３議事：議案第２７号】

教育長：第３議事 議案第２７号 社会教育委員の委嘱について上程

生涯学習推進監兼生涯学習課長：議案第２７号について説明

教育長：議案第２７号について質疑を許可

===== 質疑なし ===== 第３議事 議案第２７号 ===== 議決 =====

【第３議事：承認第２３号】

教育長：第３議事 承認第２３号 専決処分（学区外就学）について上程

学校教育課長：承認第２３号について説明

教育長：承認第２３号について質疑を許可

===== 質疑なし ===== 第３議事 承認第２３号 ===== 承認 =====

【第４議事：部課長報告】

教育長：第４議事 各課定例報告について上程

教育総務課長：１月分給食献立、１月分アレルギー献立表について説明

学校教育課長：１２月１日現在の児童・生徒数について説明

１月分行事予定について説明

生涯学習推進監兼生涯学習課長：１１月分生涯学習関係施設利用状況について説明

１１月分市民休暇村客室等稼働状況について説明

１１月分総合文化センター、図書館の利用状況について説明

総合文化センターの今後の予定案内

スポーツ振興監兼スポーツ課長：１１月分体育施設使用状況について説明

1 月分行事予定について説明

教育長：第4議事 部課長報告のうち、各課定例報告について質疑を許可

教育長：第4議事 部課長報告のうち、令和6年12月議会一般質問、市民文教委員会質問事項報告について上程

教育総務課長：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・学校におけるD Xの推進について（谷口睦生議員）
- ・市中心部の児童生徒の増加予測と対応について（佐原充恭議員）
- ・避難所施設の環境対策について（鈴木正人議員）

市民文教委員会

- ・（議案）工事請負契約の変更について（住吉小学校擁壁改修工事請負契約）（星野雅春委員）
- ・（所管）学校における情報セキュリティ対策について（佐々木隆教委員）

学校教育課長：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・学校におけるD Xの推進について（谷口睦生議員）
- ・社会、公民、政治経済教育について（鈴木絹男議員）
- ・地域との絆を深める教育について（森島公祐議員）
- ・不登校対策について（新海真規議員）
- ・学校部活動について（伊藤愛恵議員）
- ・教育文化のブランディングについて（葛原祐季議員）
- ・刈谷城建設について（上田昌哉議員）
- ・子どもの多様性を大切にすることについて（城内志津議員）
- ・子どもの成長を見守る公的な役割の堅持について（山本シモ子議員）

市民文教委員会

- ・（所管）歴史教育について（星野雅春委員）
- ・（所管）社会、公民、政治経済教育の充実について（鈴木絹男委員）

生涯学習推進監兼生涯学習課長：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・電子図書館システムの利用状況について（谷口睦生議員）
- ・市民館の運営について（新海真規議員）
- ・図書館の魅力向上について（伊藤愛恵議員）
- ・公共施設の市民満足度向上について（中嶋祥元議員）
- ・楽しい公園づくりについて（稲垣雅弘議員）

市民文教委員会

- ・（所管）市民だより配布の外部委託に伴う自治会、公民館活動に対する支援の対応について（松永寿委員）
- ・（所管）子ども・若者総合相談窓口について（大山実副委員長）

スポーツ振興監兼スポーツ課長：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・スポーツを通じた健康づくりについて（鈴木定晴議員）

市民文教委員会

- ・（予算）亀城グラウンド整備事業について（佐々木隆教委員）

教育長：第4議事 部課長報告のうち、令和6年12月議会一般質問、市民文教委員会質問事項報告について質疑を許可

鶴田委員：鈴木絹男委員からの質問の中に、中学校での不完全な社会、公民、政治経済教育についてとありますが、具体的にどのような内容でしょうか。

学校教育課長：選挙投票率の低下が問題となる中で、若者が政治に関心をもつために、教育分野から積極的にアプローチをすることの必要性を指摘していただきました。答弁としては、学校の授業の中で、主権者としての知識を身に付けるとともに、自らの考えを表現する力を育成し、将来有権者として政治に参画するための基礎を築いている現状の取組について説明いたしました。

鶴田委員：松永寿委員からの質問の中に、公民館運営委託料の変更についてとありますが、委託料は変更されないという認識でよろしいですか。

生涯学習推進監兼生涯学習課長：公民館運営委託料については、現在、変更する予定はありません。松永委員としては、市民だよりの配布を外部委託することに伴い、公民館活動の財源が減ることを懸念されての質問と考えられますが、自治会の報償費が見直されることで、運営に支障が無いよう配慮される旨を担当部署より伺っております。

石田委員：不登校対策について、すこやか教室で毎月実施されている「親の会」の参加者数はどの程度でしょうか。また、開催の案内はどのようにされていますか。

学校教育課長：参加者数は10人に満たない回もあり、対象者の方が全て参加されているわけではありませんが、保護者の方々がそれぞれの悩みや経験を共有し、お互いにアドバイスができる等、有意義な会であると認識しています。開催の案内としては、すこやか教室に通級している児童生徒の保護者の方全員に対し、おたより配布等で案内しています。

教育長：「親の会」で出た意見を通じて、低学年向けの本を教室の入り口に展示したり、絵を描いたり卓球をしたりと、より通いやすい雰囲気づくりがなされています。

教育長：次に、今年度の学校訪問を振り返り、委員の皆様に感想や意見、提案等をお聞きたいと思います。

学校教育課長：「令和6年度 1学期及び2学期 学校訪問を終えて」について説明

鶴田委員：今年度も参加させていただき、ありがとうございました。

まず、各校で地域学校協働活動について参加率が高く、地域との交流が活発に行われていることを知ることができました。また、働き方改革への様々な取組についても、具体的にお話を聞くことができてよかったです。

授業については、「スカイメニュー」や「コラボノート」等の用語が頻繁に使われていて、ICTの活用が進んでいることを実感しました。また、問題を解くことだけに留まらず、その解法等についてクラスメイトや全体に向けて発言する機会が多く設けられていて、自分の考えや物の見方について自分の言葉で説明する力が育成されていると感じました。さらに、動機付けや振り返りについてとても丁寧に行われており、児童生徒が「自分にとってどのような学びを得られたか」を意識できるように仕掛けることで、より深い学びに繋がるよう配慮されていたと思います。また、学習のめあてを子ども自身が決めたり、議論の司会を子どもに任せる等、児童生徒の自主性を大切にされている様子も印象的でした。

他にも、各校で、キラキラカードが活用されていたり、授業の冒頭で漫画の1ページを使ったり、先生が作ったオリジナルのアプリを使用したり、幼稚園と合同で避難訓練を行う等、様々な工夫や取組が見られて良かったです。先生方が声かけトレーニング等を学び実践されている姿にも感銘を受けました。

私からの要望事項としては、それぞれの学校の特長や素晴らしい取組について、せっくなので、学校の垣根を越えて共有していただきたいということです。学校同士の横の繋がりを強くすることで、全体的な底上げになるのではないかと思います。

浅井委員： 私からは二点あります。

一点目は、タブレットの活用についてです。今回の学校訪問では、タブレット導入当初の学校訪問と比べて、各授業でのタブレットの使用率が低いように感じました。授業の内容や展開によってタブレットの使用方法も精査されているとは思いますが、仮に先生方個人の得意不得意によって使用頻度に影響があるとすれば、もったいなさを感じます。それぞれの先生が作られる教材についても、例えばそれをデータ化することで別の先生と共有し、別の授業でも使えると思います。タブレットの積極的な活用により、先生方の働き方改革も進めていただきたいと思います。

二点目ですが、ある学校の社会科の授業で見かけた、模造紙の貼り紙についてです。先生の手書きと思われるもので、歴史に関する内容がとても綺麗に分かりやすくまとめられていて、作成した先生の熱意にはとても感心しました。素晴らしさと同時に、「この貼り紙を作成するためにどれだけの時間がかかったのだろう」とも思いました。一点目の内容に通じることはありますが、先生方の働き方改革の視点から考えたときに、教材作成にかかる時間とその効果について検証する必要があると感じます。先生方の熱心な思いを否定するわけでは決してありませんが、そこだけの評価してしまえば、業務量の削減には繋がりません。例えば、「教材が手書きである必要があるかどうか」という視点をもつことで、新しい方法が見つかるかもしれません。データ化することができれば、学校の垣根を超えて共有し、先生方の業務時間を減らすことができるかもしれません。

これは学校訪問ではなく私自身の親としての経験なのですが、子どもの受験先に

ついて学校の先生に相談した際に、「その学校への進学実績が少ないため情報がない」「受験当日の出来次第」との返答しか受けられず、不安な思いを抱えたことがあります。保護者としては、教材作成に限らず、このような進路指導等に関しても、先生方にアドバイスをいただきたい思いがあります。そのためにも、ご多忙な先生方の業務を効率化し、本当に時間をかけるべき業務について精査していただきたいと感じています。

小川委員：私は今回で4回目の学校訪問を経験させていただきました。教育委員としてはコロナ禍からのスタートだったので、今年の学校訪問で、コロナ禍ではない日常的な授業を見ることができたと感じました。子どもたちが活発に動く様子が見られたことが良かったと思います。一方で、コロナ禍以前の様子については知らない部分が多いため、コロナ禍を経て教育現場で起きた変化について、良い点悪い点を含め、検討する機会があってもよいのではと感じました。

また、DXについてですが、各校で試行錯誤がされていて、進んでいる印象を受ける学校もあれば、少し停滞気味に感じる学校もありました。市全体として、今後も積極的に進めていただきたいと思います。

働き方改革については、部活動がなくなることは効果的であると考えられますが、外部委託をすることによって、外部講師の方に生じる負担の大きさや本業との調整等についても、学校側が考えていかなければならない問題だと感じています。

石田委員：私は今年8回目の学校訪問でした。コロナ禍の大変な時期を経て、率直に、刈谷市の教員の皆様の成長を感じております。先生方の教育に対する意欲の高さも感じますし、先生方の思いを実現していくことができる環境にも恵まれていて、そんな様子が子どもたちにも伝わっているのではないかと思います。

小中学校21校及び特別支援学校を回らせていただきましたが、どの学校においてもペアトーク・グループトーク等が活発に行われていて、コミュニケーション力の向上が見られたことが良かったと思います。さらに、ある学校では、単に意見を交わすだけでなく、子どもたちが意見を出し合いやすい場をつくり、先生がその過程をサポートし、子どもたち自身が話し合いをまとめて進める力を育てている点が印象的でした。コミュニケーション力という言葉はよく聞きますが、そこからさらに進化し、「コーディネート力」の育成をしているということに感心しました。

一方で、もう少し配慮していただきたいと感じたのが、学級文庫です。以前より気になっていた点ではありますが、背表紙が取れていたり、ボロボロになってしまっている本が多く見られます。学級文庫には、図書室で古くなった本が充てられることが多いと思いますが、物を大切にすることも大切な学びです。司書の方々もお忙しい中とは思いますが、ぜひご意見をいただきながら、整備できると良いと思います。また、鉛筆の持ち方や姿勢の崩れが年々増えていると感じます。正しい姿勢を保つことは、集中力や意欲を高めることに繋がるため、大切にしていきたいと思います。

良かったと感じたのは、どの学校でも、先生方と児童生徒の温かい関わりが見られたことです。休み時間になれば先生が子どもたちと一緒に遊んでいたりと、廊下で色々

な話をしている様子が印象的で、そのような交流が、子どもたちの健やかな成長に繋がっていると実感しました。

また、不登校支援について、ある中学校で「ほっとルームがワンクッションになって教室に入りやすくなった」という言葉を受け、重要な役割を担っていると感じました。今後、小学校についても、実状に合わせ工夫をしながら、設置を進めていければ良いと思います。

また、全体を通して、教員の方のスキルアップが進んでいることも感じました。ベテランの先生方が若い先生方を見守り育てている様子を見る中で、時代の変化にも対応されていて、良好な関係を築かれていることを心強く思いました。

さらに、地域学校協働活動が順調に進んでいる学校も多い印象でした。まだ駆け出しの学校については、学校同士の横の繋がりをもってノウハウを共有できると良いのではないかと思います。

最後に、私の思いをまとめます。子どもたちが本音を話せたり、自己成長できる空間づくりが必要だと感じています。子どもたち自身が、自分の人生について考える時間をもつゆとりが必要です。本来、それがあれば子どもたちは学びを止めず、面白さを感じると思います。しかし、心に余裕がない子どもたちが多いのが現実だと捉えています。日頃「もしかしたらレールを引きすぎていないか」「自由な発想を止めてないか」と立ち止まり考えることを、自分自身も大切にしています。それと同時に、「休む」ということを勧めています。個人的に相談を受けるときは、「休む」「リラックスする」「疲労が溜まる前に休む」ということを推奨しています。その方が回復が早く、心身を健やかな状態に保ちながら回復できます。でも、それをするはずの休みと言われてしまったりすることがあるんですよね。「何もないのに休んでいる」と言われたり、それが子どもの本音から聞こえたことがありました。だから「休めない」「みんなが行くなら私も行かなくちゃ」「僕も行かなくちゃ」となります。その思考が無理をすることに繋がり、休みたくても休めなくなり、悪循環に繋がります。子どもたちには、自分をもっと大切にしてほしいと思いますし、そのような児童生徒について学校では多角的に捉え、お話してもらえたり、教えていただければありがたいと思います。また、教員の皆さんが、子どもたちの変化に気付こうとする努力は絶え間なく続けられています。それが先生方自身の心身の負担に繋がっていることも事実だと感じたことがあります。であれば、教員にとっても子どもにとっても、新しい予防策を考える時期に来ているのかもしれませんが。そして未来の教員には、「気付き力」「共感力」「教員自身の自分を守るための切り替え力」「フラットに話せるスキル」が求められていると思います。子どもたちは、決してお世辞を言ってほしいわけではないはずです。本当のことを受け止めたいたい気持ちがある一方で、「怖い」「不安」「勇気が出ない」という感情も抱えていると思います。それを支える一番近い存在が保護者であり、学校にいる大人である教員の皆さんだと思います。きっとそういった環境づくりが、真の解決や健やかな教育の新しい第一歩となり得るかもしれません。一人の人間が、自分の足で前を向くことを決断でき、自分らしさと人間力を伴えるきっかけになると信じています。これからも、本音で話し合える場をつくりながら、子どもたちの想像力や発想力をたたえ、その子にしかない貴重な価値や存在を認め合える世の中

と教育現場づくりが進むことを心から願っています。以上です。

教育長：私からもお話させていただきます。

地域学校協働活動について、3年前より導入され、各校で実践が進んでいます。当初は他市の活動を参考にしながら始めたものですが、着々と進めていただき、最近では他の市町から視察に来ていただくこともあり、大変ありがたく感じています。雁が音中学校の「ありがとう たった5文字の応援歌」という標語にもあるように、「ありがとう」のあふれる学校づくりを進めていきたいと思っています。

また、先日行われた愛知教育大学のシンポジウムでも紹介しましたが、防災教育について、小垣江東小学校と刈谷特別支援学校が避難訓練を合同で行ったり、日高小学校では津波に備えて校舎の3階まで避難する訓練をしたり、朝日中学校の避難訓練では3年生がこぐま保育園へ園児を迎えに行く等の実践がされています。また、小学校の社会科で行われた防災アドバイザーを招いての授業では、「避難用のリュックサックに何を入れるか」というテーマで、子どもたちが「自分で持てる重さで何を持って逃げるのか」という、実践的な学びを得ています。学校訪問の際にも、「避難所で自分たちが何をできるか」と考えさせる授業があり、「順番を守る」「ルールを守る」等の意見が交わされていました。今後もこのような防災教育を進めていきたいと思っています。

学校訪問でいつも私が一番に気を付けて確認していることは、安全対策です。窓際にポット等が置かれていないか、窓の棧がしっかりとハマっているか等、事故の予防にを第一に考えます。昔、ある小学校で、大きな木の枝に縄跳びのロープがかかっていたので、そのようなものが放置されることのないように注意をしています。

授業については、今年、研究発表会も含めて三つの大きな成果が出たと思います。一つ目は、魅力ある教材によって子どもの興味を惹きつけること、二つ目は二段階発問により授業の内容を深めていくこと、そして三つ目は振り返りをする事で次の授業に生かしていくこと。このような授業の流れがしっかりとできていて、研究も進んでいると感じています。また、子どもたちが自分の考えを伝え合う「よさっぴタイム」や「おがっちタイム」、「かりなんトーク」等が定着し、効果を発揮していると感じます。どの学校も子どもたちの発言力が高くなり、自由に話ができる子が増えている印象です。さらに、ICTの活用により、発言の少ない児童生徒についても、タブレットを使って授業に関わることができるようになったと思います。

他にも、学び合う先生方の姿がとても印象的でした。担当の学年や教科で集まり、教員同士が学び合う姿がみられることは、刈谷市の学校の良いところです。働き方改革の中で、勤務時間とのバランスについて調整が必要ではありますが、授業の質を落とすことがないよう、先生方の学び合う姿勢は大切にしていきたいと思っています。

第4議事

部課長報告

以上

教育長：その他全体を通して質疑を許可

浅井委員：ある保護者の方からのご意見を受け、ご相談させていただきます。小学校の部活動がなくなることに伴い、地域のスポーツクラブの情報を得たいという保護者の方に対し、一覧等で情報提供をいただくことはできないでしょうか。

スポーツ振興監兼スポーツ課長：総合型地域スポーツクラブについては、市ホームページに掲載しています。しかし、小学校の部活動と合致する全てのクラブの一覧については、現状では把握しておらず情報提供もしておりません。民間の斡旋となりかねない点や、一定の基準を満たす団体の一覧を作成した際にその内容を都度把握し更新し続けることを考慮し、現実的ではないと判断しています。しかし、今後そのようなご意見が多くある場合は、改めて検討する必要があると思います。

教育長：事務局連絡事項を許可

教育総務課総務係長：次回教育委員会定例会の日程等について確認

教育長：以上をもちまして、令和6年第12回教育委員会定例会を全て終了いたします。

会議閉会時間

午後3時29分

教 育 長